Product Liability NEWS

jtdna 検索

6号

15.AUG.2014

JTDNA®

【発行所】
特定非営利活動法人　日本テクニカルデザイナーズ協会
〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-22-5 パークスビル 2F
☎03-5875-6175　FAX：03-5875-6176
✉c-japan@jtdna.or.jp

■責任は取らされます！■
～中国製チキンナゲット事件～

昨年末の冷凍食品や有名百貨店レストランのメニュー偽装表示・コーナン商事の PSE 偽装表示・ベネッセの膨大な個人情報流出・日本マクドナルドでの中国製チキンナゲット生産工場のずさんな安全無視の実態・・・。【結果責任】という根本的な部分で、さまざまな業種における超優良企業の看板が、つぎつぎと地に落ちています。そこには、「我が社では最善を尽くしている」「年 1 回は検査に行った」など、自己の責任を転嫁する言葉が並びます。工業製品だけでなく、サービス・デザイン成果物など、全てのものが【結果責任】を負うのです。それが今の Product Liability の世界です。

先日のセミナーで、参加者から「なかなか上司に理解してもらえないが ...」との質問がありました。どのように社内意識を高めるか―その答えは、「あなたが責任を負えるのですね ?」と、その上司にはっきりと進言することです。普段は部下に責任転嫁できても、大きなトラブルに際して部下が表明した正しい《取組みへの意志》を無視した責任者・経営者は、その責任をとらねばなりません。

同様の問題を起こした
ファミリーマート

消費期限切れの鶏肉を使い問題になっ
ているマクドナルド

多数の事例があります。株主代表訴訟に至れば、「経営責任」はさらに厳しく追求されます。

「経営側の《消費者安全に向けた取組み意識の高さ》を公表するために、この協会の賛助会員になっています。我々自身を守る《必要経費》として PL 対策を指導している団体はこの NPO だけです」という、賛助会員の役員のお言葉が、強く印象に残っています。また個人でも、自主的に「PL 検定」を受験して自らの取組みの証を持つ事も、「自己責任社会」では大きな後ろ盾になります。

INDEX

1ページ・・・・責任は取らされます！
～中国製チキンナゲット事件～

2ページ・・・・新 PL 学を世界に発信
・PL 研究学会設立決定

3ページ・・・・PL 検定事務局より
・PL 検定受験料改定のご案内

4ページ・・・・各地の取組み
事務局だより

9月のセミナー案内

東京　日時　9/19（金）13:00～16:30
場所　豊島区西池袋1−21−7
三井住友海上池袋支店6F 会議室
【最新 PL 対策と製品安全、消費者安全の関係】
・PS～PL～CS について
（法律と民間の取り組みについて）
・最新 PL 対策解説・PLP(事故予防の取り組み)

大阪　製品安全（PL 対策）勉強会
日時　9/24（水）14:00 ～ 15:30
場所　大阪南港　ATC　ITM 棟 11F　グリーンエコプラザ内　多目的スペース
消費者庁での製品安全対策に関する情報や PL 対策に取り組み事業者の事例などご報告させていただきます。

詳細は協会ホームページ「イベント情報」からご覧ください。
http://www.jtdna.or.jp/pl-seminar.html

Copyright © JTDNA All Rights Reserved.

JTDNA®
PLnews
2014年8月号

■「新 PL 学」を世界に発信■

PL研究学会設立決定

PL法施行(1995年7月1日)から20年目の本年7月1日、日本で初の本格的なProduct Liabilityを研究する学会の設立が決定しました。来年7月1日設立に向けて、設立準備委員会が中心となり、当協会と東北工業大学にて準備を進めています。

シンポジウム会場となる東北工業大学

当協会では、設立企画書作成・研究テーマ策定・協力団体や国などを対象とした当学会の告知等を進めています。また東北工業大学でも、新たな研究室設置に向けた具体的な取組みが開始されました。同大学では、4年前より「消費者視点からのPL対策」の講義を実施してきましたが、今年度は「デザインとPL」という新テーマのもと、同大学・客員研究員に着任した当協会・理事長が前期講義を行いました。本年11月1日に、教育機関としては初めてのシンポジウムを同大学にて開催する事も決定しました。東北工業大学とPL研究学会準備委員会が共同主催とし、当協会は協賛団体として支援します。シンポジウムのテーマは「震災復興下の安全なまちづくりとPL(製造物責任)」に決定、併せて、より大きな枠組みの中での【製造物責任】について、各方面から基調講演などをいただきます。シンポジウムの具体的な内容公表は7月末の予定で、9月1日に参加者募集を開始する予定です。今後、当学会では学術研究と産業界との連携を通して、様々な視点から「Product Liability」に関する調査研究を行い、これを【新PL学】と位置づけ、世界に向け情報発信します。

学会の「設立趣意」などは
http://www.jtdna.or.jp/2014/07/pl-1.html
に詳しく掲載しています。

■事業者の意識高まる■

上期セミナー総括

平成26年度上期のJTDNA製品安全セミナーは、7月19日の第三回を以て終了し、延べ百数十名のご参加をいただきました。上期セミナーにおいて特筆すべきことは、製品安全に対する事業者の意識が大変高くなっていることです。毎回の開催案内をお知らせすると数日で定員に達する状況で、昨年とは明らかに違う動きが伺えます。また、参加された方々からのご意見やご質問等も、具体的な内容となり、企業内でもPL対策の必要性に対する認識が育ちつつあることが分かります。上期の講演内容は、事故予防対策(PLP)及び事故発生後対策(PLD)を主体としましたが、PL対策は飽くまでも事故予防対策が優先事項であることを事業者に対して繰り返しお伝えしています。また、セミナー参加者から社内セミナーに対する具体的な打診が重なり、JTDNAとして、事業者の要請に則した対応が出来ることを周知しています。

下期は、リコール対策を中心に以下の日程による開催を予定しております。

1回目・・平成26年9月19日(金)
2回目・・平成26年10月17日(金)
3回目・・平成26年11月26日(水)

後期においても消費者庁後援を得ており、消費者庁消費者安全課担当官に登壇をいただく予定になっております。なお、開催日が変更になる場合は、メルマガ等にてお知らせいたします。

セミナー講師を派遣します

当協会ではセミナー等の講師派遣のご相談を承っておりますので、事務局までお気軽にご相談ください。

●当協会の定めるツールを使い実施するセミナー
1時間30分まで 40,000円
1時間延長事に 20,000円増
但し、4時間迄
●上記以外の内容をご希望の場合は、別途事務局にご相談ください。
●事務局
TEL：03-5875-6175 FAX：03-5875-6176
平日10時～18時まで対応
e-mail： c-japan@jtdna.or.jp

Copyright © JTDNA All Rights Reserved.

JTDNA®
PLnews
2014年8月号

ＰＬ検定事務局より

■ＰＬ検定受験料改定のご案内■

このたびＰＬ検定受験料を改定し、より受験していただきやすくなりました。ぜひＰＬ検定を受験し、日常の仕事や生活に役立ててください。

・３級（web受験）...4,800円(税込み)
・２級...38,000円(税込み)

●ＰＬ検定をわかりやすく紹介した動画(YouTube)を公開しています。
アクセスＱＲコードはこちら >>>

■分かりやすい取説を作りたい■

検定合格者の声

私は会社で取扱説明書の作成に携わっていますが、最初のうちは「誰が作っても取扱説明書なんて大きな違いはないだろう」と思っていました。ところが、PL検定を受検し、PL対策を勉強していく中で、取扱説明書そのものが消費者に最も身近な製品安全対策であること、その質が制作者の知識・経験に大きく左右されることを学びました。これからは２級の合格者として、また取説制作者として「いかに分かりやすく消費者に使用方法・リスクを伝えるか」ということを試行錯誤しながらさらに学んでいき、知識を生かしていきたいです。
(有限会社祥和舎　菅野様)

寄付のお願い

当協会は、寄付金と会費で運営されています。皆様の善意の寄付や会費で、消費者安全に関わる具体的な取組みを行っている団体です。

●郵便振替でご送金の場合
口座番号　00140-4-433181
加入者名　NPO法人日本テクニカルデザイナーズ協会
通信欄に、住所、氏名、および「寄付金」と記入してください。
郵便局に用意されている用紙をご利用ください。

●銀行口座からのご送金の場合
三菱東京UFJ銀行　西池袋支店　(普通) 2319398
口座名義　特定非営利活動法人　日本テクニカルデザイナーズ協会
送金と同時に、以下の内容でメールを送信してください。
氏名、住所、金額、および「寄付金」と明記
Email：c-japan@jtdna.or.jp

●いずれの場合も、送金手数料はご負担願います。詳しくは協会ホームページにてご覧ください。

http://www.jtdna.or.jp/kifukin.html
アクセスQRコードはこちら >>>

PL検定例題

【例題】
正しいＰＬ対策」とは、製品事故や表示欠陥などの不測の事態も「予見の範囲」に組み入れ、「想定外」という言い訳をしない「毅然とした事故対応」の仕組みを作ることである。
【正解】○
【解説】
一連の食品偽装事件等に見られるように、企業の安全に対するずさんな対応では、ブランドを傷つけ、大きなダメージを受けます。欠陥製品を販売した場合、販売した事業者も「消費者安全」に対する責任を厳しく問われます。「ＰＬ検定」で正しい知識を習得しましょう。

PL対策ワンポイントアドバイス

「とりあえず何をすれば良いのですか？」と相談者から質問を受けます。
―まずは「正しい情報・知識を得て、自らの行動計画を立てて実行する」、これ以外にありません。セミナーでは毎回、「取扱説明書を見直してください」と伝えます。なぜならば、皆様の消費者安全に向けた取組みのレベルがそこに反映されているからです。「自分一人」「身内」に拠る評価が果たして客観的で正しいものなのか、原子力安全委員会・東電・理研等を想起してみてください。皆様にはもう答えがわかりますよね！**「ＰＬ検定を受けてください」、これが答えです。**

Copyright © JTDNA All Rights Reserved.

JTDNA®
PLnews
2014年8月号

首都圏

講師派遣の申し込み増える

PLnews5号発行以降、首都圏のJTDNAに対して注目すべき動きがありました。一つは、取扱説明書の検証依頼の増加です。もう一つが社内セミナーへの講師派遣の打診の増加です。増加の理由は、今年に入ってから連続して発生した大規模なリコールに対する危機感から具体的な動きとして表れていると思います。取扱説明書の検証及び講師派遣もJTDNAとして常に対応できる体制となっていますので、web上から又はFAXや電話にてお気軽にお問合せください。なお、ご依頼に対して的確な対応を図るために、事業者の意向を確認するすることが重要となりますので、ご依頼に関する目的等も併せてお知らせください。

行政の動向

消費者庁関連として、協会の窓口としてお世話になっていた消費者安全課のご担当が、7月に人事異動となりました。ご担当には、シンポジウムやセミナーに対する後援名義使用承認を頂くための申請書類を始め記述内容の確認及びリコール案件の情報交換等大変お世話になりました。後任のご担当も就任されましたので、今後とも情報交換等を通じて良い関係を築くよう努力する所存です。

東日本

「ものを売る、買うことの責任を感じた」

東北工業大学で「デザインとPL」を学ぶ

東北工業大学ライフデザイン学部安全安心生活デザイン学科の2年生は、年2回の講義を通じてPLに触れます。今年は7月14日、当協会の理事長が「デザインとPL」と題して、90分の講義を行いました。学生からは「物を売る、買う事の責任、全ての事に責任が付いてくるのだと感じた」「『どのような誤使用が起こるのかを想像する』という話はとても興味を持てた」また、「家庭を持ったとき『取扱説明書を読み、正しく商品を使う事がどれだけ大切か』という事が分かった」という感想が寄せられています。すでに5年目になり400人を越す学生が「新PL学」を学んでいます。10月に二回目の講義を行います。

西日本

「PL対策」の輪広がる

大阪での勉強会やセミナーを通じ、「新しいPL対策」に対する認知度が高まっていると実感します。そこで、今回は実際に関西でPLアドバイザーとして活躍されているアイアール保険プランニングの伊藤義和様の活動をご紹介します。

PLアドバイザーとして活動を始めて5年になります。元々は生命保険マンだった私でしたが、お客様のオールリスクに対応したいという思いから損害保険も扱う保険代理店を独立開業し、その中で協会と出会いPLアドバイザーの資格を取得しました。主な活動としては協会主催の勉強会やセミナーで「PL事故予防策」や「PL事故発生後対策」についてお話したり、企業内セミナーで「PL対策」の必要性、重要性を社員の方々に解りやすく伝えたりしています。もちろん本業の保険についても「PL対策」の観点から勉強会、セミナーでのお話に盛り込んでいます。また、関西の中小企業向け産業展に「PL対策」の相談窓口としてブースを出すということも毎年行っています。

この活動の中で、各企業が「PL対策」に積極的に取り組み、PL事故を発生させないことが重要であり、もしPL事故が発生した場合に被害者救済に向けた速やかな対応が不可欠であることを痛切に感じております。「製品安全社会」実現のためにPLアドバイザーとして保険代理店として、お客様に役立てるよう活動していきたいと思っています。

（アイアール保険プランニング　伊藤様）

■事務局だより■

夏休みも終わり事務局も通常通りの業務に戻りました。

夏休みといえば、当協会のセミナーも8月は夏休みで9月より再開いたします。セミナーは定員に達すると受付を中止することもありますのでお早めにお申し込みください。また、11月には仙台にてシンポジウムも開催します。それぞれの詳細については地域担当者または事務局までお問い合わせください。

まだ残暑が続きます。お体には十分お気をつけください。

（秦）

Copyright © JTDNA All Rights Reserved.